

# 奈良柿渋の漆喰和壁と日用品たち

2016年6月16日(木)～6月21日(火)

柿渋とは・・・

渋柿の未熟な果実を粉碎、压榨して得られた汁液を発酵・熟成させた赤褐色で半透明の液体で、古来より様々な用途に用いられてきた日本固有の材料。柿渋液の中に含まれる「柿タンニン」には抗菌、消臭、防水、防腐、防虫等の様々な効果があり、塗布することで効果を発揮する。

今回の展覧会は、「柿渋」を共通のテーマに、デザイナーさんや様々なジャンルの工芸作家さん、企業の方との出会いによって行われたグループ展です。

会場には、アクセサリやストール、鞆等の身に纏うものから、テーブルウェアや花器等の生活の中で使うもの、椅子やのれん、屏風、壁紙等のインテリアに関するものまで様々な展開された作品が並び、「柿渋」の幅広い可能性を感じる事が出来ます。

今、環境や人に優しいものを選ぶ本志向の人が増えてきている中、古来から日本で培われてきたナチュラな効能を持つ「柿渋」を私たちの生活の中に取り入れていく提案をする、素敵な展覧会でした。



画像・イラスト等の保存・無断使用・転載・二次利用は禁止します



デザイン 亀井義弘  
(制作：曾我部)



皮革工芸 石田満美



金属工芸 榎京子



木工芸 清水克悦



陶工芸 曾我部務



染織工芸 野村恭子



木工芸 林靖介



柿渋鞆 辻野孝

